



2025年10月29日

各 位

会 社 名 S B I インシュアランスグループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役執行役員会長兼社長 乙部 辰良
(コード番号：7326 東証グロース市場)
問 合 わ せ 先 取締役執行役員 大和田 徹
TEL. 03-6229-0881

2026年3月期中間連結会計期間の決算速報のお知らせ

当社及び当社グループの決算手続は未だ完了しておりませんが、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行うため、当社グループの2026年3月期中間連結会計期間（2025年4月1日～2025年9月30日）の決算速報（日本基準）を以下のとおりお知らせいたします。

なお、当社の2026年3月期中間連結会計期間の決算発表は2025年11月12日を予定しております。

2026年3月期中間連結会計期間 決算速報（日本基準）

当中間連結会計期間における当社グループの経営成績の見通しは次のとおりであります。なお、経常収益、経常利益、親会社株主に帰属する中間純利益、1株当たり中間純利益のいずれも中間連結会計期間としての過去最高を更新する見込みです。

	(実績) 前中間連結会計期間 (2024年4月1日～ 2024年9月30日)	(速報) 当中間連結会計期間 (2025年4月1日～ 2025年9月30日)	対前年同期 増減率 (%)
経常収益	57,362百万円	69,211百万円	20.7
経常利益	4,867百万円	7,307百万円	50.1
親会社株主に帰属する中間純利益	1,626百万円	2,254百万円	38.6
1株当たり中間純利益	65円53銭	90円82銭	

経常収益は、すべての事業において保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期比で11,848百万円増加し、69,211百万円（前年同期比20.7%増加）となる見込みです。

この増収効果により、経常利益は前年同期比で2,439百万円増加し、7,307百万円（同50.1%増加）となる見通しです。

また、親会社株主に帰属する中間純利益は、税金費用の増加があったものの、着実な増収効果とその影響を吸収し、前年同期比で627百万円増加の2,254百万円（同38.6%増加）となる見込みです。

セグメントごとの経営成績の見通しは次のとおりであります。

(単位：百万円)

	経常収益			セグメント利益 (親会社株主に帰属する中間純利益)		
	中間連結会計期間		増減率 (%)	中間連結会計期間		増減率 (%)
	2025年3月期	2026年3月期		2025年3月期	2026年3月期	
損害保険事業	20,150	22,609	12.2	1,428	1,590	11.4
生命保険事業	20,776	28,903	39.1	343	469	36.8
少額短期保険事業	16,540	17,785	7.5	172	569	229.6
報告セグメント計	57,467	69,298	20.6	1,944	2,629	35.3
セグメント間消去又は調整	△105	△87	—	△317	△375	—
中間連結損益計算書計上額	57,362	69,211	20.7	1,626	2,254	38.6

(注) セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

2025年9月末の保有契約件数(団体がん保険の被保険者数を含む)は1,347千件(前年度末比1.6%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比12.2%増加の22,609百万円となる見込みです。セグメント利益は、税金費用が増加(※)したものの、着実な増収効果とその影響を吸収し、前年同期比11.4%増加の1,590百万円と堅調に推移する見通しです。

(※) 前年同期に一時的に繰延税金資産を計上したことにより税金費用が抑制されていましたが、当中間連結会計期間ではその特殊要因が一巡したことで税金費用が増加しました。

(生命保険事業)

2025年9月末の保有契約件数(団体信用生命保険の被保険者数を含む)は674千件(前年度末比7.5%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の順調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比39.1%増加の28,903百万円となる見通しです。セグメント利益は、前年同期のような一過性の増益要因(※)が見られないものの、着実な増収効果により、前年同期比36.8%増加の469百万円となる見込みです。

(※) 前年同期には非上場株式の売却益等を計上していました。

(少額短期保険事業)

2025年9月末の保有契約件数は1,050千件(前年度末比1.0%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数の堅調な増加による保険料の増収などにより、前年同期比7.5%増加の17,785百万円となる見込みです。セグメント利益は、この増収効果により、前年同期比229.6%増加の569百万円となる見通しです。

上記の2026年3月期中間連結会計期間の決算速報に記載されている情報は、本資料発表日現在において入手可能な情報を元に作成した速報値であり、確定値ではありません。2025年11月12日に発表を予定しております2026年3月期中間連結会計期間(2025年4月1日～2025年9月30日)の決算数値は、様々な要因により、本速報値と異なる可能性があります。

以上